

## 高校進学参考に

### 金川中学校で出前授業

6月28日、金川中学校で、飯塚高校の介護福祉コース、自動車エンジニアコース、製菓コース、トータルライセンスコースの授業を体験する出前授業が行われ、3年生65人が参加しました。

それぞれのコースに分かれた生徒たちは、飯塚高校の教師などによる授業を受講。車いすでの介助や自動車のタイヤ交換、ケーキづくり、計算機を使ったいろいろな計算などの専門的な作業に真剣な様子で取り組みました。

自動車エンジニアコースを受講した加藤伊織さんは「タイヤ交換が思ったより難しかった。こういう体験を参考にして、進学先を決めたい」と感想を話しました。



▲先生が見事にケーキを切り分ける様子を見つめる生徒たち

## 日ごろの努力が実を結び

### 鍛錬で培った技術と精神力で見事優勝

7月2日、日本高山少林拳連盟誠武会後藤寺道場の拳士たちが市役所を訪れ、小竹町民体育館で開催された「日本高山少林拳福岡県大会」の結果を伊藤信勝市長に報告しました。

大会では、演武（小・中・団体）で吉井太輝くん、谷樹生くん、岡田一芳くん、植木祐輔くん（いずれも弓削田小6年）、角屋諒一くん（行橋市・泉小2年）たちのチームが、演武（一般・個人）器械の部で二場幸孝さん（田川科学技術高校2年）がそれぞれ優勝。さらに乱取り小学6年の部で谷くん、高校の部で二場さんが見事優勝を果たしました。

大会の最優秀拳士賞も獲得した二場さんは「実践的な練習を重ね、少しずつ成長していきたい」と抱負を語りました。



▲拳士たちは賞状やトロフィーを手に優勝を報告しました

## 木のぬくもりを感じて

### 「もりのきしょうぎ」20セットを寄贈

7月5日、添田木材㈱代表取締役の荒木光子さんが田川市民会館を訪れ、遊びながら森林の大切さを学べるようにと地元産の間伐材で製造した「もりのきしょうぎ」20セットを教育委員会に寄贈しました。

「もりのきしょうぎ」は、将棋のルールを簡略化した「どうぶつしょうぎ」を、荒木さんやふくおかご当地しょうぎ会代表の永光祐子さんらがアレンジ。今回寄贈された「もりのきしょうぎ」は、市内の小中学校9校と不登校児童生徒が通う「サウンドスクール」で活用されます。

荒木さんは「普通の将棋よりも簡単に遊べるので、たくさん遊んで木に触れる機会を増やして欲しい」と話しました。



▲尾垣有三教育長に寄贈する荒木さん(左)と永光さん(中)